

13. 臨床研修の到達目標、経験度合

◎=頻繁に経験できる ○=経験できる △=たまに経験できる 空白=当科では経験できない

医師は、病める人の尊厳と公衆衛生に関わる職業の重大性を深く認識し、望ましい医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務を遂行できる横断的な資質・能力を修得する。		内科	心臓血管診療部	精神科	小児科	心臓血管外科	呼吸器外科	外科	乳腺診療部	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	診療部 骨盤底機能再建	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急医療科	新生児科	リハビリテーション科	検査科	輸血部	病理診断科	大月中央病院	豊見城中央病院	やまと診療所	荒川区保健所
		A 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)																												
A-1	社会的使命と公衆衛生への寄与 医師としての社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、変化する社会と限りある資源に配慮した公正な医療の提供と公衆衛生の向上に努める。	◎	◎	○	◎	◎	△	△	○	○	△	○	○	○		◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△	○	○	◎	◎	◎	○
A-2	利他的な態度 患者の意向や自己決定権を尊重しつつ、患者の苦悩・苦痛の軽減と福利の改善を最優先の務めと考え行動する。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	△
A-3	人間性の尊重 個人々の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って、患者や家族に接する。	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
A-4	自らを高める姿勢 医師としての自らの言動を常に省察し、資質・能力の向上に努める。	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	△
B 資質・能力																														
B-1	医学・医療における倫理性 診療、研究、教育に関する倫理的問題を認識し、適切に行動する。	◎	◎	◎			○		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	① 人間の尊厳と生命の不可侵性を尊重する	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	○	○	○	○	○		◎	○	◎		○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	△
	② 患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○
	③ 倫理的ジレンマを認識し、相互尊重に基づき対応する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	○	◎	○	○	△	○	○	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	△
	④ 利益相反を認識し、管理方針に準拠する。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	○	◎	○	○		○	○	◎	◎	○		○	○	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	⑤ 診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	○	△	○		○	○	◎	◎	◎		○	○	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	△
B-2	医学知識と問題対応能力 発展し続ける医学の中で必要な知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る	◎	◎	◎			○		◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	
	① 主な症候について、鑑別診断と初期対応ができる。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	△	○	○	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	
	② 患者に関する情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮して臨床決断を行う。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○	△	○	◎	◎	◎	◎		○	○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	
	③ 保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。	◎	◎	◎	◎	○	○	△	◎	◎	○	△	△	○	◎	◎	◎	○		△	○	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	
B-3	診療技能と患者ケア 臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、意向に配慮した診療を行う。	◎	◎	◎			○		◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○				◎	◎	◎	
	① 患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎		○	○	◎	◎		○		◎	◎	◎	
	② 患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	
	③ 診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	
B-4	コミュニケーション能力 患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。	◎	◎	◎			○		◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎			◎	◎	◎	△
	① 適切な身だしなみ、言葉遣い、礼儀正しい態度で患者や家族に接する。	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	△
	② 患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	△
	③ 患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	○	◎	△	△	○	◎	◎	◎	◎		△	○	◎	◎		○		◎	◎	◎	△
B-5	チーム医療の実践 医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人々の役割を理解し、連携を図る。	◎	◎	○			○		◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	◎	
	① 医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	
	② チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。	◎	◎	○	◎	◎	○		◎	◎	◎	△	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	

13. 臨床研修の到達目標、経験度合

◎=頻繁に経験できる ○=経験できる △=たまに経験できる 空白=当科では経験できない

医師は、病める人の尊厳と公衆衛生に関わる職業の重大性を深く認識し、望ましい医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）及び医師としての使命の遂行に必要な資質・能力を身に付けなくてはならない。医師としての基盤形成の段階にある研修医は、医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務を遂行できる横断的な資質・能力を修得する。		内科	心臓血管診療部	精神科	小児科	心臓血管外科	呼吸器外科	外科	乳腺診療部	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	診療部 骨盤底機能再建	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急医療科	新生児科	リハビリテーション科	検査科	輸血部	病理診断科	大月中央病院	豊見城中央病院	やまと診療所	荒川区保健所
		B-6	医療の質と安全の管理 患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。	◎	◎	○		○		◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎
	① 医療の質と患者安全の重要性を理解し、評価・改善に努める。	◎	◎	○	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○		○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	
	② 日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	○	
	③ 医療事故等の予防と事後の対応ができる。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	◎	◎	△	△	○	◎	◎	◎	◎	○	△	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎		
	④ 医療従事者の健康管理(予防接種や針刺し事故への対応を含む。)を理解し、自らの健康管理に努める。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	○	○	△	○	○	◎	◎	◎			○	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	△	
B-7	社会における医療の実践 医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。	◎	◎	○			△		◎	○	△	○	○	○	◎	○					○	◎	◎	◎		○	◎	◎	◎	△
	① 保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。	◎	◎	○	◎	○	△	△	◎	○		○	○	△	○	◎	◎	○			△	◎	◎		○	○	◎	◎	◎	○
	② 健康保険、公費負担医療を適切に活用する。	◎	◎	◎	◎	○	△	△	◎	◎		○	○	△	△	◎	◎	◎			△	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	
	③ 地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。	◎	◎	◎	○	○	△	△	◎	◎	△	○	○	○		◎	◎	○			○	◎	◎	◎	○		◎	◎	◎	△
	④ 予防医療・保健・健康増進に努める。	◎	○	○	◎	△	△	△	◎	◎		△	○	△	△	◎	◎	○			△		◎	△	○		◎	◎	◎	○
	⑤ 地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。	◎	○	◎	◎	△	△	△	◎	○		△	○	○		◎	○	○			◎	△	◎		○	△	◎	◎	◎	△
	⑥ 災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。	◎	△	△	△		△	○	◎	○	△		○	△		◎	○	○			◎	△	◎	△	○		◎	◎	◎	△
B-8	科学的探究 医学と医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学医療の発展に寄与する。	◎	◎	○			△		◎	◎	○	○	○	○	◎	○	◎			○	◎	◎	◎	△		○	◎	◎	◎	
	① 医療上湧き上がった疑問点を研究課題に変換する。	◎	◎	○	◎	○	△	△	◎	○	○	○	○	○	◎	◎	◎			○	◎	◎	◎		○	○	◎	◎	◎	
	② 科学研究方法を理解し、活用する。	◎	◎	○	◎	○	△	○	◎	○	○	○	○	○	△	◎	◎	◎			△	◎	◎	◎		○	○	◎	◎	◎
	③ 臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。	◎	◎	○	◎	◎	△	△	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎				◎	◎	◎		○	○	◎	◎	◎	
B-9	生涯にわたって共に学ぶ姿勢 医療の質の向上のために常に省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける	◎	◎	○			△		◎	○	△	○	○	◎	○	◎	◎	◎			○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
	① 早い速度で変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。	◎	◎	○	◎	◎	△	○	◎	○	○	○	○	◎	◎	◎	◎	◎			○	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	
	② 同僚、後輩、医師以外の医療職を教え、共に学ぶ。	◎	◎	○	◎	◎	△	○	◎	◎	△	○	○	◎	◎	◎	◎	◎			○	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	
	③ 国内外の政策や医療上の最新の動向(薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。)を把握する。	◎	◎	○	○	◎	△	○	◎	○	△	△	○	○		◎	◎	◎			○	◎	◎	○		◎	◎	◎	◎	
C	基本的診療業務																													
C-1	コンサルテーションや医療連携が可能な状況下で、単独で診療ができる。	◎	◎	○			○	△	◎	◎	△	△	△	◎	◎	◎	◎			○	○	◎	◎	△		△	◎	◎	◎	
	一般外来 症候などの臨床問題を適切な認知プロセスを経て解決に導き、頻度の高い慢性疾患のフォローアップができる。	◎	○	○	○	◎	○	△	◎	◎	◎	○	○	◎	○	◎	◎	◎			○		○	○			◎	◎	◎	
C-2	病棟 入院患者の一般的・全体的な診療とケアができる。	◎	◎	○	◎	◎	○	△	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎				◎	◎	△	△			◎	◎	◎	
C-3	初期救急 頻度の高い症候と疾患、緊急性の高い病態に対応できる。	◎	◎		◎	◎	○	○	○	◎	○	○	◎			◎	◎	◎			◎	◎	△				◎	◎	◎	
C-4	地域医療 地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療・介護・保健に関わる種々の施設や組織と連携できる	◎	○		◎	△	△		◎		○	△	△	○		◎	◎	◎			○		◎	◎		△	◎	◎	◎	

14. 初期臨床研修で経験が求められる症候、疾病の経験度合

◎=頻繁に経験できる ○=経験できる △=たまに経験できる 空白=当科では経験できない

経験症候及び経験疾病については、日常業務において作成する病歴要約で確認を行うことし、病歴、身体所見、アセスメント/プラン、検査所見、治療方針、当該患者に対する考察等を含むこと。		内科	心臓血管診療部	精神科	小児科	心臓血管外科	呼吸器外科	外科	乳腺診療部	整形外科	形成外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	診療部	骨盤底機能再建	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	救急医療科	新生児科	リハビリ科	検査科	輸血部	病理診断科	大月中央病院	豊見城中央病院	やまと診療所	荒川区保健所
経験疾病	外来又は病棟において、下記の疾病を有する患者の診療にあたる	◎	◎			○		○		○											◎								◎		
25疾病	脳血管障害	◎		○	△	△	○					○						△	△	◎	○	◎	△	◎					◎		
	認知症	◎		◎		△		○	○			△					○	○	○	◎	○	○		◎					○		
	心筋梗塞	◎	◎			○	△	△												○	○	◎		○					◎		
	心不全	◎	◎		△	○	○		△					△						◎	○	◎	△	○					◎		
	大動脈瘤	○	○		△	◎	○													◎	○	◎		△					◎		
	高血圧	◎	◎		○	◎	◎	○	○			○		△	○	◎	○	△			○	○		◎					◎		
	肺癌	○					◎							△						◎		○		○					◎		
	肺炎	◎	○		◎	○	◎	△	○					△		○				◎	○	◎	○	○					◎		
	急性上気道炎	◎			◎	○	◎		○		○			△		○				◎		○	○						◎		
	気管支喘息	◎			◎		◎		△		△						○			○	○	◎		○					◎		
	COPD	◎				○	◎		△		△								○	◎	○	◎		○					◎		
	急性胃腸炎	◎			◎		○	○	○		○			△		○					○	○							◎		
	胃癌	◎					△	◎												○		○			◎				◎		
	消化性潰瘍	◎			○	△	○	○	○		○			△		△		△	△	○		◎			◎				◎		
	胆石症	◎			△	△	△	◎						△		△				◎		◎			◎				◎		
	大腸癌	◎					△	◎						△						◎		○		○	◎				◎		
	腎盂腎炎	◎			◎		△							◎	○	◎				○		◎			△				◎		
	尿路結石	◎			△	△	△							◎	○	○				◎		○			△				◎		
	腎不全	◎			△	○	△					△		◎	○	○					○	◎	△	○					◎		
	高エネルギー外傷・骨折・捻挫						△				△	○		△						◎		◎		○					◎		
糖尿病	◎		○	◎	○	○	○			○	△		△	△	◎				○		○	◎		◎				◎			
脂質異常症	◎			◎	○	○	○				△		△		○						○		◎	△				◎			
気分障害	○		◎	○		△				○			△		○				△		○		△					○			
統合失調症	△		◎			△				○						△		△			○		△					○			
依存症(ニコチン依存症・アルコール依存症・薬物依存症・病的賭博等を含む。)	○		○			○				○											◎							○			